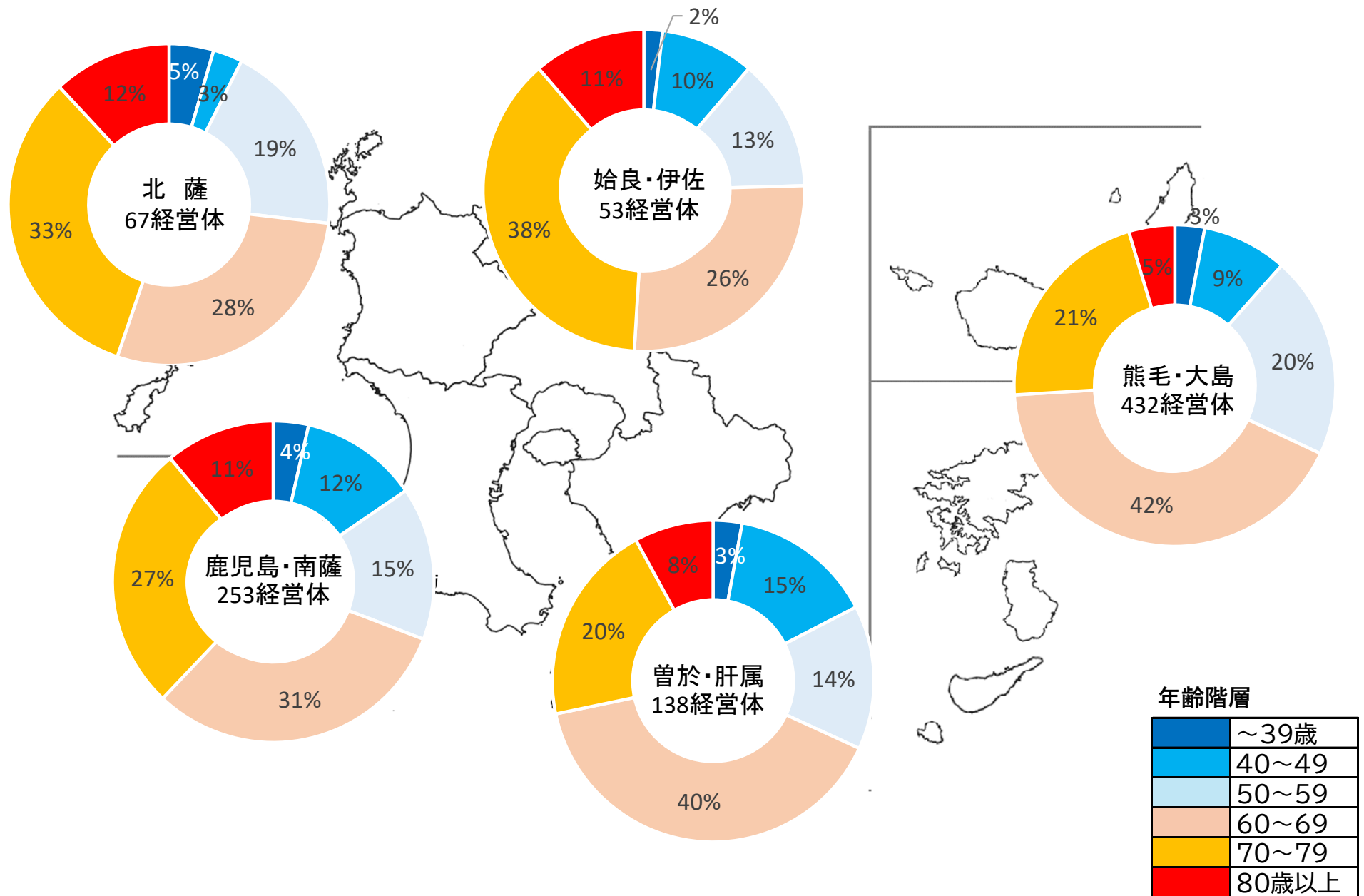


花き類に関する情報

- ・ 鹿児島県の花き類の経営体数等
- ・ 新たな食料・農業・農村基本計画における花き類関係の記述
- ・ 主な支援策

令和7年9月24日
農林水産省九州農政局鹿児島県拠点

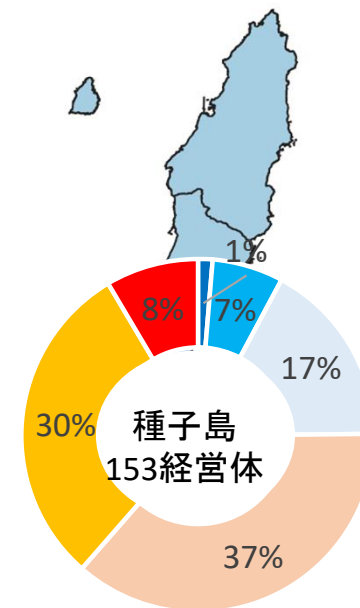
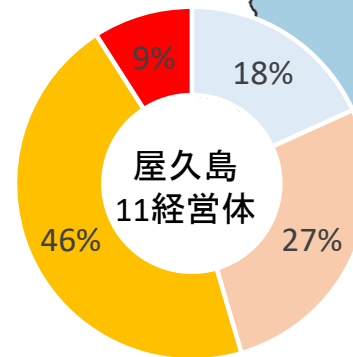
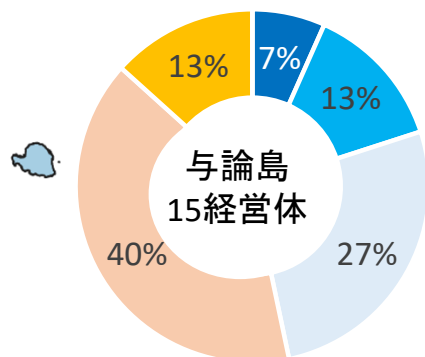
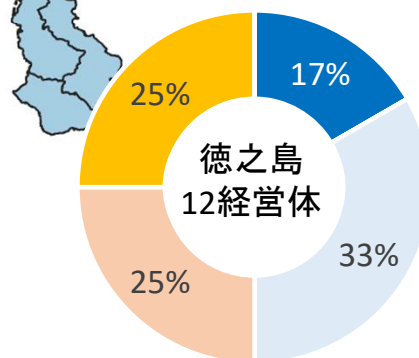
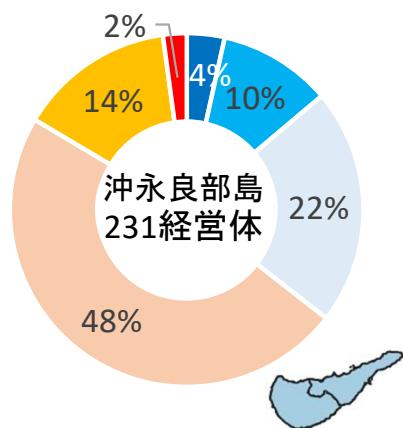
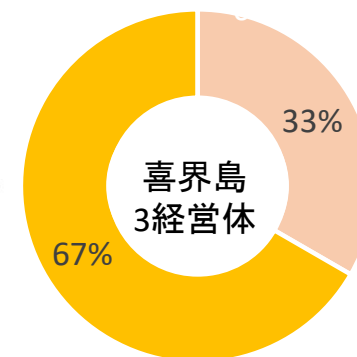
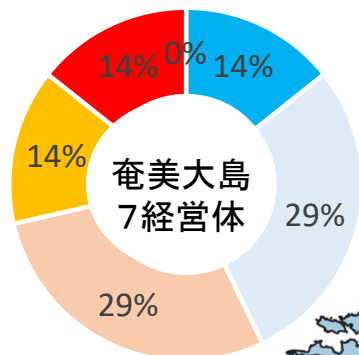
鹿児島県の花き類の経営体数（地域別・年齢構成別）



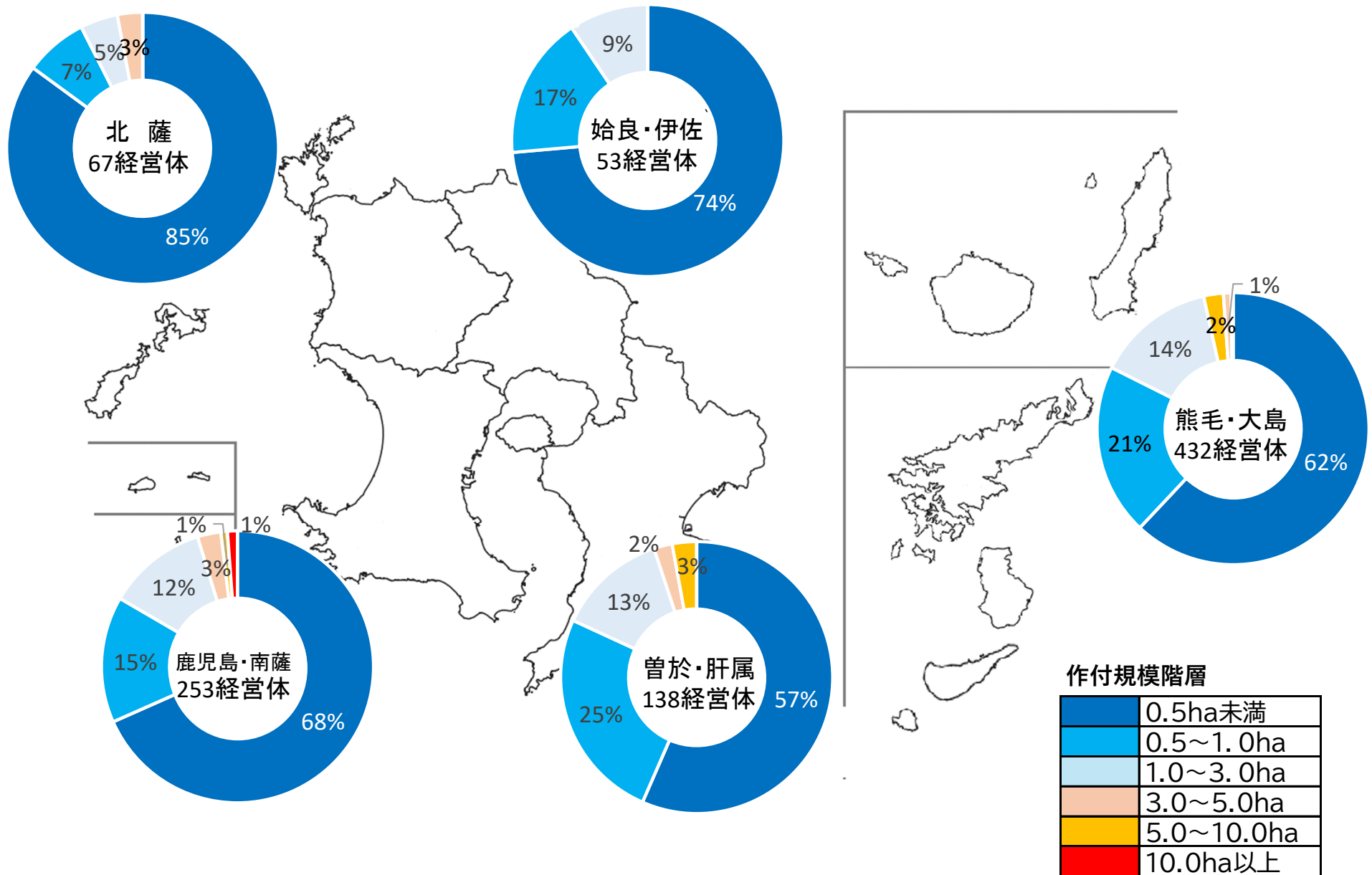
熊毛・大島地域の花き類の経営体数（年齢構成別）

年齢階層

～39歳	～39歳
40～49	40～49
50～59	50～59
60～69	60～69
70～79	70～79
80歳以上	80歳以上



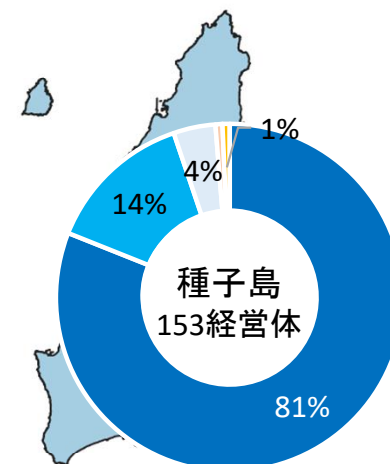
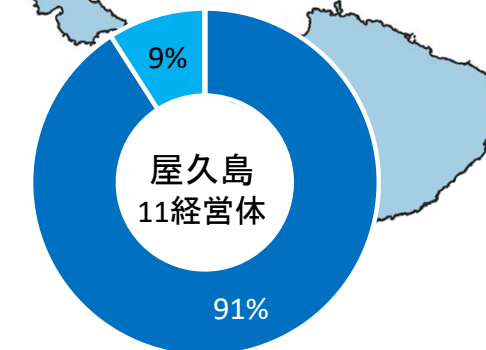
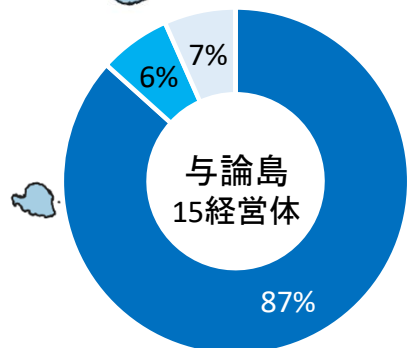
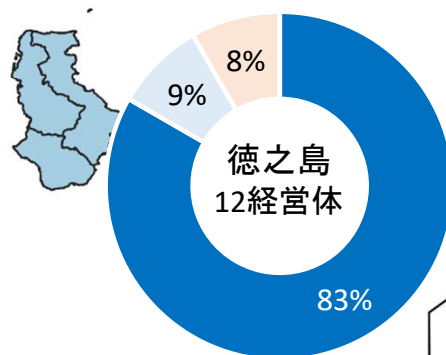
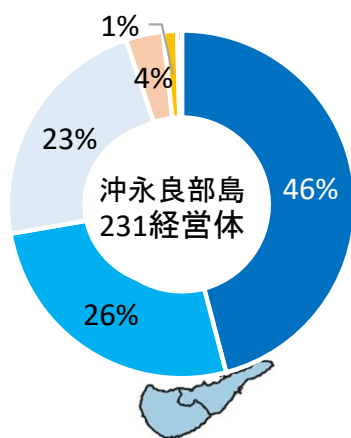
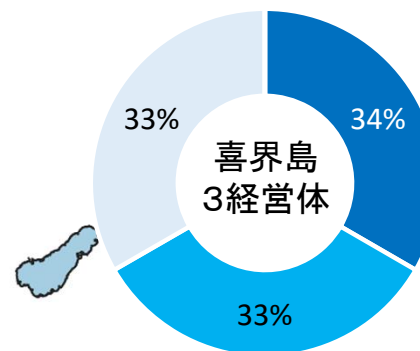
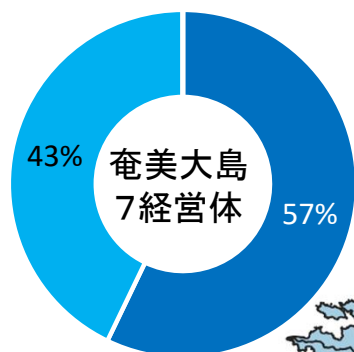
鹿児島県の花き類の経営体数（地域別・作付規模別）



熊毛・大島地域の花き類の経営体数（作付規模別）

作付規模階層

	0.5ha未満
	0.5～1.0ha
	1.0～3.0ha
	3.0～5.0ha
	5.0～10.0ha
	10.0ha以上



鹿児島県で生産されている主な花き（地域別・県本土）



オリエンタルユリ



スプレーギク



アイビー



オリエンタルユリ



スプレーギク



花壇用苗物



大中輪ギク



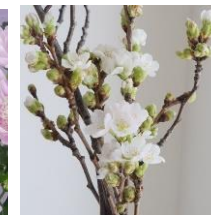
観葉植物



ソリダゴ



スプレーギク



枝もの類



大中輪ギク

鹿児島県で生産されている主な花き（熊毛・大島地域）



ストレリチア



スターチス



小菊

奄美大島



スプレーギク

喜界島



スプレーギク



ソリダゴ



グラジオラス



えらぶゆり

沖永良部島



与論島



ソリダゴ



トルコギキョウ



徳之島



トルコギキョウ



ソリダゴ



グラジオラス



屋久島



ドラセナ



枝ものの類

種子島



レザリーファン



フリージア球根



フェニックスペロー

新たな食料・農業・農村基本計画

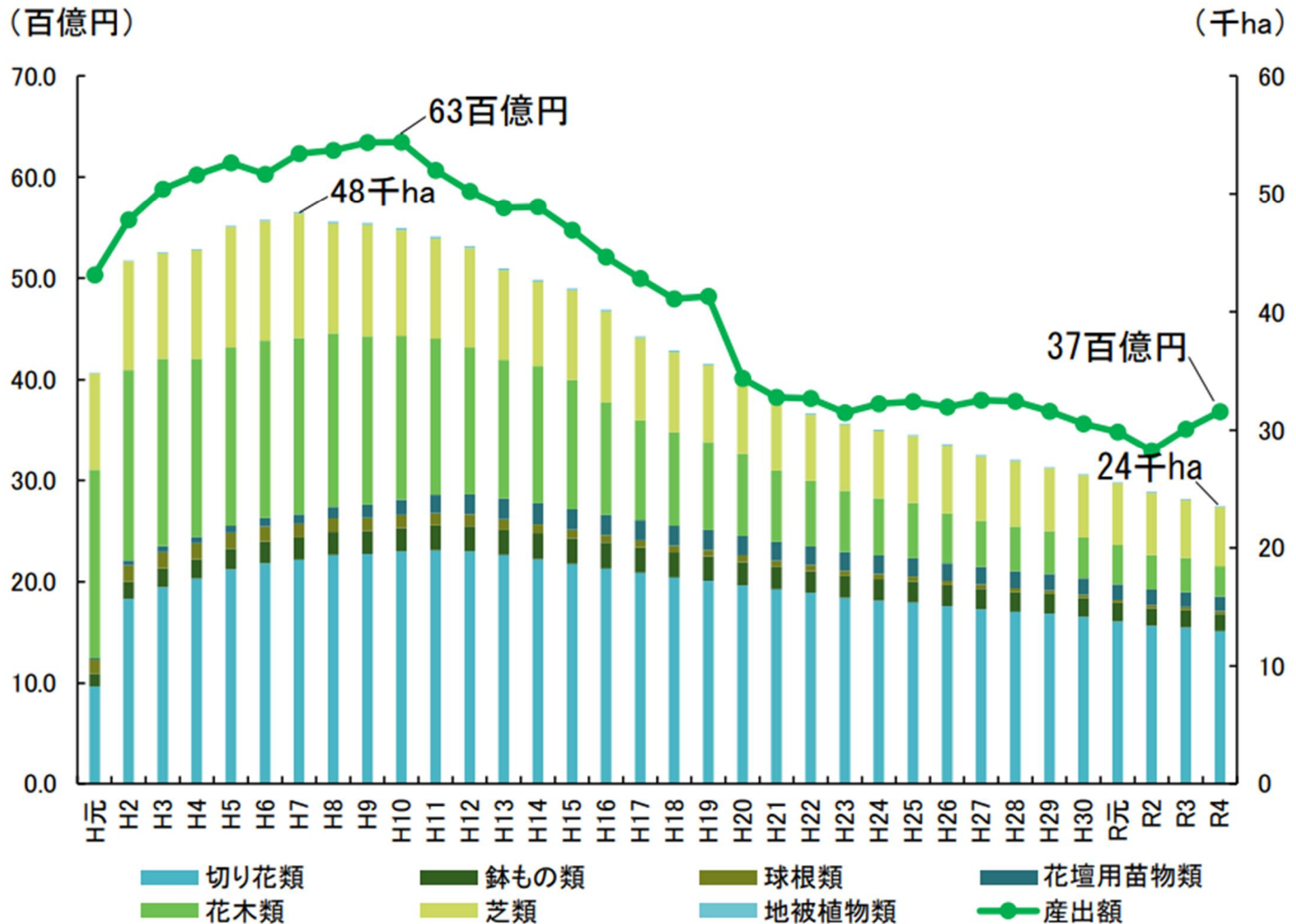
改正食料・農業・農村基本法の下、
新たな食料・農業・農村基本計画を策定
(令和7年4月閣議決定)

新たな食料・農業・農村基本計画 における「花き」の目標

	2022年		2030年
算出額	3, 6 8 4 億円	→	4, 5 0 0 億円
切り花の輸出額	1 7. 1 億円	→	4 6 億円
作付面積	1. 6 万ha	→	1. 6 万ha

※ 産出額は「生産農業所得統計」「花木等生産状況調査」により算出しており、「花木等生産状況調査」の最新値が2022年のため、産出額の最新値は2022 年となる。

花きの産出額・作付面積の推移



花きの都道府県別の産出額

単位:億円

都道府県	産出額	主に生産されている花き	都道府県	産出額	主に生産されている花き
北海道	127	スターチス②、ゆり（切り花）カーネーション（切り花）③	滋賀	13	ばら、洋ラン類（鉢）、きく
青森	19	きく、トルコギキョウ、花木類	京都	11	切り枝、きく、観葉植物
岩手	44	りんどう①、きく、ゆり（切り花）	大阪	14	庭園樹苗木、洋ラン類（鉢）、きく
宮城	25	きく、トルコギキョウ、ばら	兵庫	36	カーネーション（切り花）、庭園樹苗木、きく
秋田	25	きく、トルコギキョウ、りんどう②	奈良	36	きく、切り枝、洋ラン類（鉢）
山形	70	ばら③、切り枝、トルコギキョウ	和歌山	64	スターチス①、カスミソウ③、切り枝
福島	82	切り枝②、カスミソウ②、きく	鳥取	32	芝②、ストック③、きく
茨城	172	切り枝①、芝①、きく	島根	15	花木類、きく、トルコギキョウ
栃木	78	洋ラン類（鉢）、きく、ばら	岡山	25	ばら、洋ラン類（鉢）、切り枝
群馬	55	ばら、洋ラン類（鉢）、きく	広島	25	きく、洋ラン類（鉢）、ばら
埼玉	168	洋ラン類（鉢）③、ゆり（切り花）③、花木類③	山口	34	きく、ばら、切り枝
千葉	246	洋ラン類（鉢）、ヒバ類①、切り枝	徳島	37	切り枝、洋ラン（切り花）①、洋ラン類（鉢）
東京	45	切り葉①、観葉植物、花木類	香川	28	洋ラン類（鉢）、きく、カーネーション（切り花）
神奈川	44	ばら、洋ラン類（鉢）、シクラメン	愛媛	37	切り枝③、ばら、きく
新潟	68	ゆり（切り花）①、花木類②、チューリップ（切り花）①	高知	61	ゆり（切り花）②、トルコギキョウ、切り枝
富山	11	チューリップ（切り花）③、きく、トルコギキョウ	福岡	227	庭園樹苗木①、洋ラン類（鉢）②、きく③
石川	5	洋ラン類（鉢）、切り枝、きく	佐賀	41	ばら、シクラメン、きく
福井	4	きく	長崎	82	きく、洋ラン類（鉢）、カーネーション（切り花）
山梨	41	洋ラン類（鉢）、ばら、花木類	熊本	104	洋ラン類（鉢）、カスミソウ①、きく
長野	169	カーネーション（切り花）①、トルコギキョウ①、アルストロメリア①	大分	51	きく、トルコギキョウ、アルストロメリア
岐阜	62	観葉植物、花木類、サボテン類②	宮崎	77	洋ラン類（鉢）、ゆり（切り花）、切り枝
静岡	175	きく、観葉植物②、ガーベラ①	鹿児島	130	きく、ゆり（切り花）、観葉植物③
愛知	594	きく①、観葉植物①、洋ラン類（鉢）①	沖縄	83	きく②、切り葉③、トルコギキョウ
三重	67	庭園樹苗木②、観葉植物、ジャノヒゲ類①	合計	3,684	

「令和4年生産農業所得統計（農林水産省）」、「令和4年産花木等生産状況調査結果（農林水産省）」を基に作成。
 ※「主に生産されている花き」欄の囲い数字は、全国における順位。上位3位までを表示。

花き類のうち切り花類計の都道府県別の作付面積

	作付面積合計
全国	1, 236, 000

単位：a

順位	都道府県	作付面積	順位	都道府県	作付面積	順位	都道府県	作付面積
1	愛知	151, 300	13	福島	38, 800	25	新潟	18, 800
2	沖縄	76, 000	14	岩手	34, 700	26	大分	18, 200
3	静岡	71, 200	15	高知	33, 500	27	栃木	15, 800
4	茨城	53, 900	16	東京	29, 700	28	兵庫	14, 200
5	和歌山	53, 800	17	長崎	29, 100	29	佐賀	9, 910
6	鹿児島	51, 900	18	宮崎	27, 800	30	岡山	8, 980
7	長野	49, 500	19	埼玉	23, 600	31	宮城	8, 450
8	山形	45, 800	20	愛媛	23, 100	32	青森	6, 560
9	福岡	43, 400	21	奈良	21, 900	33	岐阜	5, 750
10	千葉	41, 400	22	群馬	21, 200	34	神奈川	5, 720
11	北海道	39, 100	23	秋田	20, 200	35	滋賀	4, 750
12	熊本	38, 900	24	徳島	19, 500			

注：記載のない府県は事実不詳又は調査を欠くもの

出典：令和6年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量

新たな食料・農業・農村基本計画における 「花き」関係の記述

① 花き

ア 消費

1 世帯当たりの切り花年間購入額は、長期的に減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下で一段と減少したが、その後、ホームユース需要やインターネットを通じた継続購入（サブスクリプション）などの販売チャネルの多様化を背景に、増加に転換している。

世代別の購入額を見ると、若い世代が少ない状況にあり、花き消費の拡大、特に**若い世代への消費喚起を図る必要**がある。

このため、コロナ禍後の需要の変化や若い世代の花き消費の促進に対応するための花きの活用策や商品開発（SDGs対応等）を推進するとともに、花のある暮らしや花き文化の魅力について、**業界が一体となりプロモーション、SNS や「2027年国際園芸博覧会」（GREEN×EXPO 2027）等の場を活用して発信し、国民の消費意欲を喚起する。**

月	主なイベント
1月	愛妻の日(1/31)
2月	フラワーバレンタイン(2/14)
3月	国際女性デー(3/8) ホワイトデー(3/14)
4月	
5月	母の日(第2日曜日) 母の月
6月	父の日(第3日曜日)
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	いい夫婦の日(11/22)
12月	

Flower
Friday♪
きっ かけ に 花 を。

L I F E 生活の花
金曜日の花贈り・花飾り

Flower Biz

WORK
～オフィスの花～
月曜日のオフィスに花を

W E E K E N D
F L O W E R



「5月は母の月」、
「6月の第3日曜日は父の日。」
をキャッチフレーズとして、
お父さん、お母さんに
花やグリーンを贈る取組を推進

逆引き事典から探す

組織別から探す

キーワードから探す Google 提供

検索

会見・報道・広報

政策情報

統計情報

申請・お問い合わせ

農林水産省について

ホーム > 農産 > 園芸作物（野菜・果樹・花き） > 花きのページ > 花いっぱいプロジェクト

花いっぱいプロジェクト

ROAD to 2027年 国際園芸博覧会
International Horticultural Expo 2027,
Yokohama, Japan

お知らせ

- 2023.3.1 BUZZ MAFFで新しい動画「【検証】大人の社会科見学！皆さんの手元にお花が届くまで【花屋編】」を投稿しました！
- 2023.2.13 BUZZ MAFFで新しい動画「副大臣、花を買う。」を投稿しました！
- 2022.12.25 BUZZ MAFFで新しい動画「今年もありがとうございました。」を投稿しました！

コンテンツ



国際園芸博覧会関連情報

2022フロリアード、2027年国際園芸博覧会などの情報についてご紹介します。

▶ 詳しく見る



農林水産省の取組

いけばな、フラワーアレンジメント等の展示をご紹介します。

▶ 詳しく見る



BUZZ MAFF

BUZZ MAFF×花いっぱいプロジェクトのコラボ動画をご紹介します！

▶ 詳しく見る



2027.3.19[FRI] ~ 9.26[SUN] 横浜（上瀬谷）

2027年3月19日
～9月26日

国際園芸博覧会
@神奈川県横浜市

花と緑のちから

★ストレス軽減効果

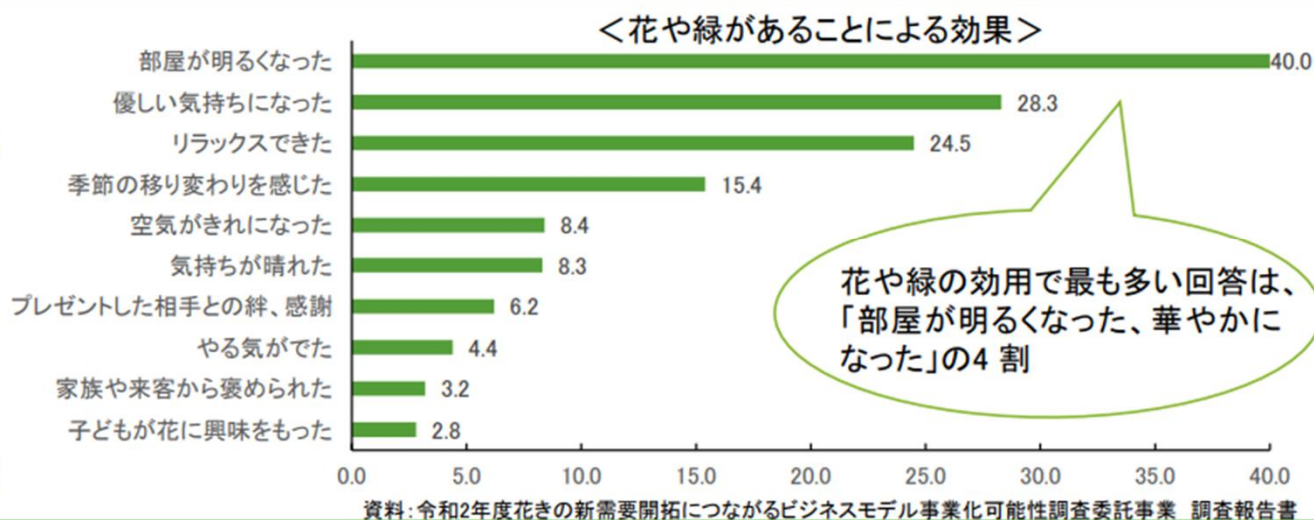
花や観葉植物を飾ることで心と体をリラックス

★認知機能の改善効果

フラワーアレンジ活動を通して、
視空間認知能力や記憶力の向上効果

★社会性向上効果

人との会話が増え、コミュニケーションが増加



花を飾る習慣が大切！



イ 輸出

切り花類の輸出額は直近10年で9倍に増加している一方、植木等については検疫等の問題から1割減少している。海外需要の更なる拡大を図るため、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」において、「**切り花**」を**輸出重点品目の一つに選定**し支援している一方で、輸出に主体的に取り組む産地が少なく、需要期のニーズに対応できないケースがある。

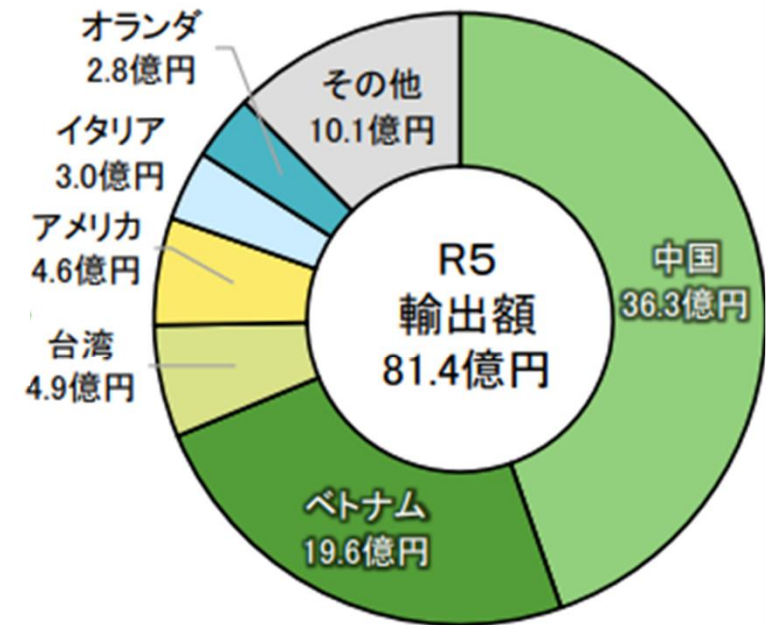
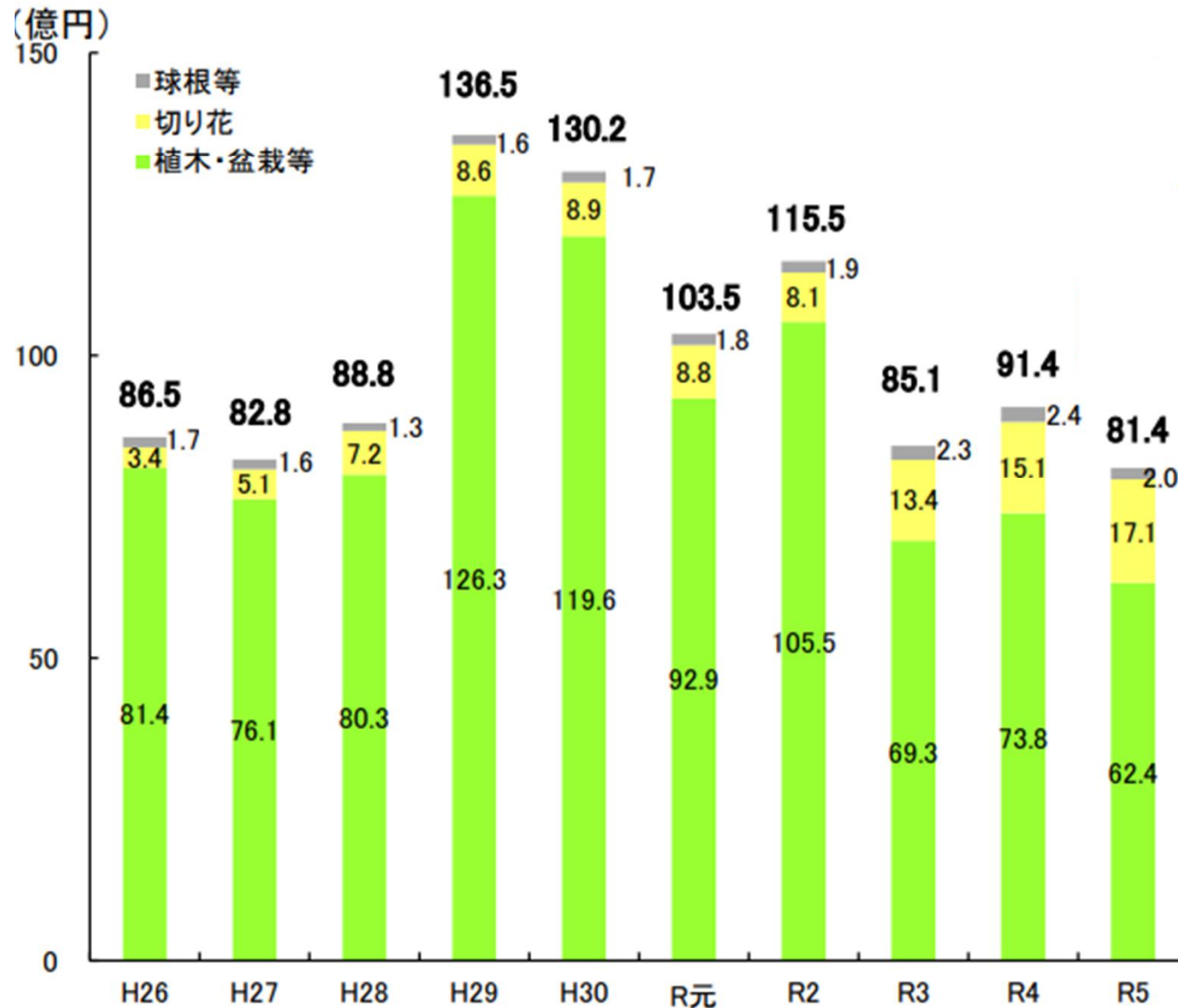
また、切り花輸出が拡大する中で、輸出先における輸送中の品質低下が一部で見られ、**海外における日本産花きのブランド力向上のための栽培・輸送・保管に係る品質管理の改善**が必要である。

このため、**海外で需要のある品目についての産地への情報提供**や産地と認定品目団体との連携強化を図り、**輸出に対応できる産地の形成を推進**する。

さらに、海外における日本産花きのブランド力向上のため、**効率的な輸送ルートの検討や輸送技術の向上、ブランド化のための品質管理体制等の検討**を進める。

(参考) 花きの輸出の状況

＜花き輸出額推移＞



切り花の輸出品目 (例)

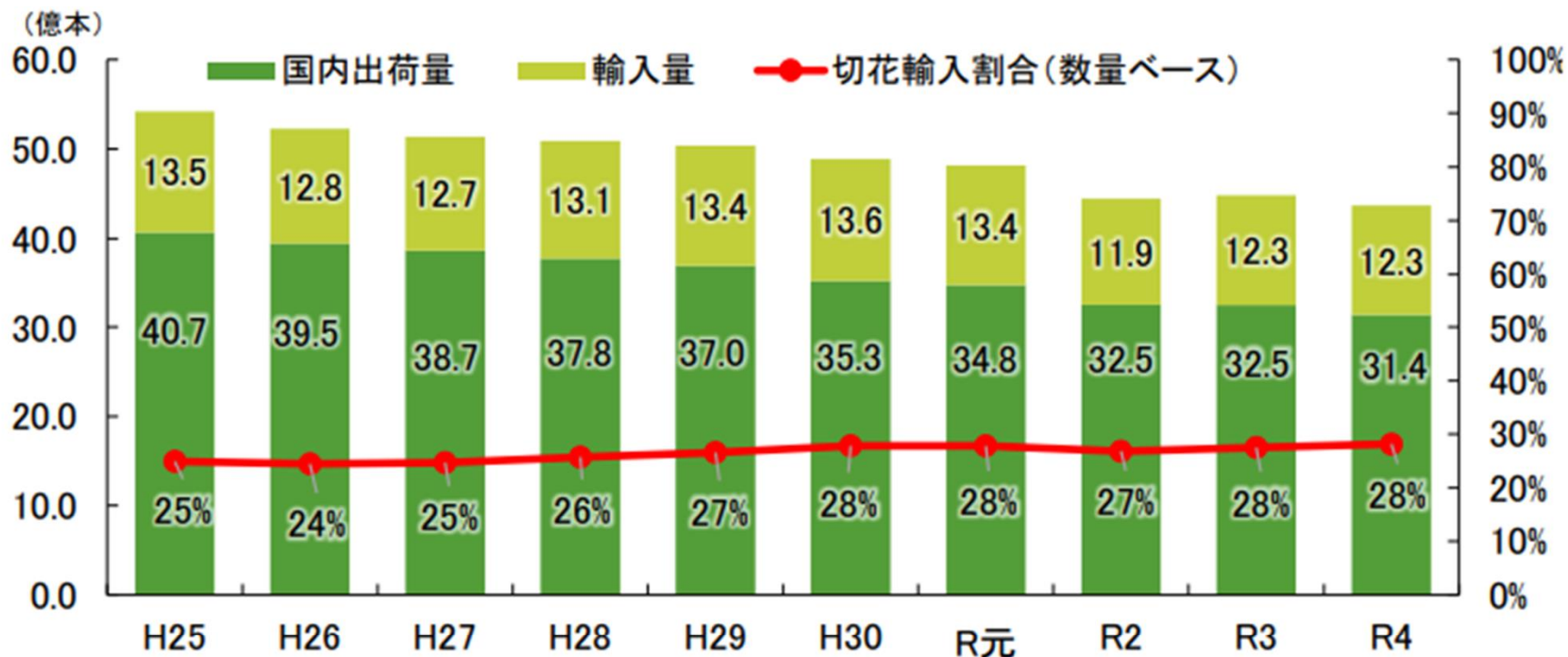


貿易統計(税関ホームページ)を基に作成。

※「植木・盆栽等」はHSコード0602.30-000、0602.40-000、0602.90-110、0602.90-190、0602.90-900。

「切り花」はHSコード0603全て。「球根等」はHSコード0601全てと0604全ての合計。

(参考) 花きの輸入の状況



<切り花の主要品目別輸入割合・輸入量(令和4年)>

品目	国内流通量 における輸 入品の割合	輸入量 (億本)	主な輸入国					
			1位	割合	2位	割合	3位	割合
カーネーション	66%	3.77	コロンビア	66%	中国	25%	エクアドル	7%
キク	21%	3.22	ベトナム	38%	マレーシア	38%	中国	22%
バラ	17%	0.38	ケニア	53%	エチオピア	17%	エクアドル	8%
ユリ	1%	0.02	韓国	86%	ベトナム	9%	中国	3%

「令和4年産花き生産出荷統計(農林水産省)」、「植物検疫統計 統計レポート 11. 輸入植物品目別・国別検査表」を基に作成。

※輸入量、主な輸入国については、「植物検疫統計 統計レポート 11. 輸入植物品目別・国別検査表」のうち、「カーネーション」はナデシコ属、「キク」はキク属、「バラ」はバラ属、「ユリ」はユリ属の数値を使用。

ウ 生産、加工・流通

気象や病害虫被害、労働力不足等により、生産性が低下しており、直近10年間で花きの作付面積は19%減少、出荷量は26%減少し、今後も減少すると見込まれる中、**異常気象への対応や病害虫被害の軽減、生産性の向上**を図るとともに、労働力の減少に対応するための作業の省力化や出荷規格の見直しを行う必要がある。

また、生花店に加え、**スーパーマーケットやホームセンターなど購入経路の多様化への対応や、輸送力不足に対応した花き流通の効率化、有利販売が可能な需要期（物日）に合わせた出荷体制の構築**を図る必要がある。

このため、異常気象や病害虫被害への対応として、**開花調整技術や赤色LED、UV-B などの化学農薬に依存しない防除技術の導入・普及、高温耐性品種・病害抵抗性品種の開発・普及や、長期保管技術の確立**を図る。また、**生産性向上のため、花きに適用可能なスマート農業技術の開発・普及、短茎規格の普及**等を進める。

さらに、輸送力不足に対応するために、パレット・台車輸送、DX 技術の活用による受発注や**輸送作業の効率化**を図る。

地球温暖化等の課題に対応するため、2050年を目標に、 「みどりの食料システム戦略」を策定しました！

(令和3年5月)

令和4年に、「みどりの食料システム法」を施行！

農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現

（注）CO2ゼロエミッション化とは、2050年までに化石燃料起源のCO2排出量をゼロにすること。

➤ **化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減**

➤ **輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減**

➤ **耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大**



経済

持続的な産業基盤の構築
・輸入から国内生産への転換
（肥料・飼料・原料調達）
・国産品の評価向上による輸出拡大
など

社会

国民の豊かな食生活
地域の雇用・所得増大
・生産者・消費者が連携した
健康的な日本型食生活
・地域資源を活かした地域経済循環
など

環境

将来にわたり安心して暮らせる地球！
・環境と調和した食料
・化石燃料からの切替
カーボンニュートラルへ

（参考）ナノファイバーで減農薬 （薩摩川内市：須賀農園）

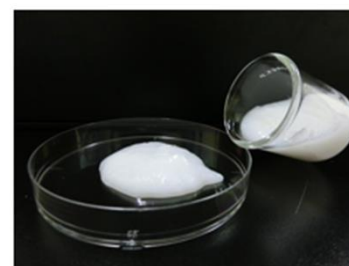
中越パルプが開発したセルロースナノファイバー（竹の抽出液で細菌等の侵入を防ぐ効果がある）を用いた物理的防除により、化学農薬の使用低減に寄与



栽培中のランキンキュラス



ハウス内の鉢植えアジサイ



ナノファイバー

令和8年度農林水産関係予算概算要求 (花き関連)

花き支援対策

令和8年度予算概算要求額 800百万円（前年度 728百万円）

<対策のポイント>

花きの需要に合わせた安定生産・安定供給に向け、高温障害を回避・軽減する技術、高温耐性・病害虫抵抗性品種への転換に係る実証や普及活動の取組、花き業界関係者の情報連携に向けた取組、新たな需要開拓・利用拡大の取組等、地域や全国で生じている課題解決に資する取組を支援します。

<事業目標>

花き産出額の増加（3,684億円〔令和4年〕→4,500億円〔令和12年まで〕）

<事業の内容>

1. 花きの安定供給に向けた取組

① 生産技術の高度化・産地体制の強化等

高温障害を回避・軽減する遮光・遮熱資材、細霧冷房等の技術、高温耐性・病害虫抵抗性品種への転換等に必要な検討会の開催、実証、普及活動等の取組を支援します。

高温障害の回避・軽減に向けた取組については、優先枠を設けて支援します。

② ホームユース需要等に対応した品目等の転換

需要のある品目・品種への転換等に必要な転換先品目の需要調査、栽培実証、栽培マニュアルの作成等の取組を支援します。

2. 花きの流通効率化に向けた取組

卸売市場・小売事業者の有する販売データを基にした国内外の需要動向を花き業界関係者で共有する仕組みづくりや花き流通標準化ガイドラインに即した物品・情報の流通の効率化等に必要な検討会の開催、実証、普及活動等の取組を支援します。

3. 花きの需要増進に向けた取組

需要拡大が見込まれるホームユース向けに適した利用スタイルの提案、需要喚起のためのPR活動や新規購買層の獲得に向けた販路開拓、花き利用の拡大に資する体験活動等を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 花きの安定供給に向けた取組

① 生産技術の高度化・産地体制の強化等



- 高温対策や病害虫防除技術の実証
- 需要期出荷に向けた開花調整の実証
- 生産コスト低減・品質向上に資する栽培技術の実証 等

2. 花きの流通効率化に向けた取組



- 情報連携に向けた調査・分析
- パレット・台車等輸送基盤の標準化 等

1. 花きの安定供給に向けた取組

② ホームユース需要等に対応した品目等の転換



- 需要拡大・収益性向上品目・品種への転換に向けた栽培実証・マニュアル作成
- 転換先品目の需要調査 等

3. 花きの需要増進に向けた取組



- 新たな販路開拓に向けた販売実証
- 需要拡大に向けた園芸体験の実施
- 消費者理解醸成に向けた調査 等

〔お問い合わせ先〕 農産局園芸作物課 (03-6738-6162)

2027年国際園芸博覧会事業

令和8年度概算要求額 6,161百万円（前年度 455百万円）

＜対策のポイント＞

2027年国際園芸博覧会の成功に向け、準備及び運営を行う（公社）2027年国際園芸博覧会協会が実施する会場建設に係る費用の一部補助や日本国政府出展の設計等を進めます。国際園芸博覧会を通じて国内外の花きの需要の拡大を図り、花き産業の成長産業化、花きの生産振興を実現します。

＜政策目標＞

花き産出額の増加（3,684億円〔令和4年〕 4,500億円〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

1. 国際園芸博覧会会場建設事業 **【2,386（0）百万円】**

2027年の国際園芸博覧会開催に向け、主催団体（公社）2027年国際園芸博覧会協会が実施する会場建設に要する経費を支援します。

2. 国際園芸博覧会政府出展委託事業 【2,400（0）百万円】

本博覧会における開催国政府展示の設計及び催事準備等業務を委託します。

3. 国際園芸博覧会施設整備事業 **【1,026（413）百万円】**

開催国政府展示に係る展示施設の建設等を実施します。

4. 国際園芸博覧会推進活動委託事業 **【78（43）百万円】**

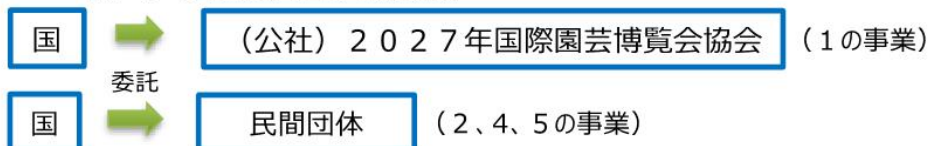
本博覧会の開催に向け、BIE（博覧会国際事務局）が行う現地調査への対応、各国等への参加招請活動、花き業界や消費者に向けた機運醸成等に関する業務を委託します。

5. 国際園芸博覧会途上国支援委託事業 【272（前年度－）百万円】

本博覧会の開催にあたり、参加途上国の出展に係る支援について業務を委託します。

＜事業の流れ＞

1 / 3 (国土交通省と同額負担)



※ 3の事業は直轄で実施

＜事業のイメージ＞

【2027年国際園芸博覧会の概要】

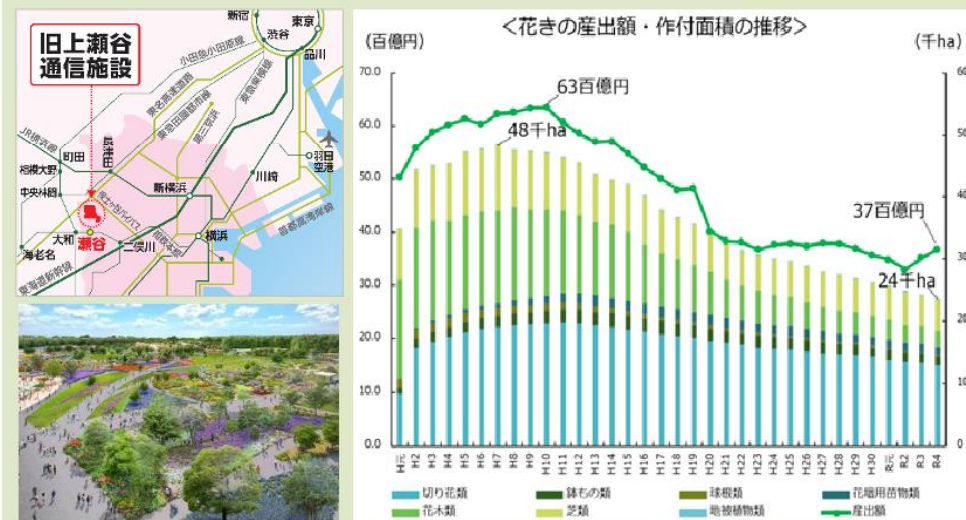
テーマ： 幸せを創る明日の風景

開催場所：旧上瀬谷通信施設（博覧会区域：約100ha）

開催期間：2027年3月19日～9月26日

参加者数：1,500万人（ICT活用や地域連携などの多様な参加形態を含む）

開催主体：（公社）2027年国際園芸博覧会協会



〔お問い合わせ先〕 農産局園芸作物課（03-6738-6162）

持続的生産強化対策事業

令和8年度予算概算要求額 16,000百万円（前年度 14,214百万円）

<対策のポイント>

産地の持続的な生産力強化等に向けて、**農業者、農業法人、民間団体等が行う生産性向上や販売力強化等に向けた取組**を支援するとともに、**地方公共団体が主導する産地全体の発展を図る取組**を、関連事業における優先採択と併せて総合的に支援します。

<政策目標>

- 加工・業務用野菜の国産切替量（32万t〔令和12年度まで〕）
- 飼料自給率（27%〔令和5年度〕→28%〔令和12年度まで〕）

<事業の全体像>

- 農産・畜産を問わず、現場の課題が迅速に解決されるよう、**生産強化対策等を1つの事業に大括り化し、総合的に支援**します。
- 「茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進」等、関連する事業メニューにおいて、「環境負荷低減事業活動実施計画」、「輸出事業計画」等を策定した場合については、優先的に事業を実施することができます。

<主な支援メニュー>

米・麦・大豆
野菜・果樹・花き
養蜂
茶・薬用作物
畜産 等

- ・ 戦略作物生産拡大支援
- ・ 時代を拓く園芸産地づくり支援
- ・ 果樹農業生産力増強総合対策
- ・ ジャパンフラワー強化プロジェクト推進
- ・ 養蜂等振興強化推進
- ・ 茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
- ・ 飼料生産基盤立脚型酪農・肉用牛産地支援 等

農作業安全
GAP 等

- ・ GAP拡大推進加速化
- ・ 農作業安全総合対策推進 等

農業者等向け事業

- 品目ごとに政策需要に対応した支援メニューを設けるとともに、重点的に取り組むべき課題の解決を後押しします。

〔品目〕

- ・ 米・麦・大豆
- ・ 野菜・果樹・花き
- ・ 養蜂
- ・ 茶・薬用作物
- ・ 畜産 等

都道府県向け事業

- 都道府県のイニシアチブの下で行う取組を支援します。

〔メニュー〕

- ・ 国際水準GAP普及推進
- ・ 持続可能性配慮型畜産推進（アニマルウェルフェア・GAP）

〔お問い合わせ先〕 （事業全体について） 農産局総務課生産推進室 （03-3502-5945）

物流革新に向けた取組の推進

令和8年度予算概算要求額 31,352百万円（前年度 26,264百万円）

<対策のポイント>

物流の標準化（標準仕様のパレット導入等）、デジタル化・データ連携（伝票の電子化、トラック予約システム等）、モーダルシフト等の取組、物流の効率化等に必要な設備・機器等の導入、中継共同物流拠点の整備等を支援します。

<事業目標>

流通の合理化を進め、飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合を削減（12.4% [令和5年度実績]→10% [令和12年度まで]）等

<事業の全体像>

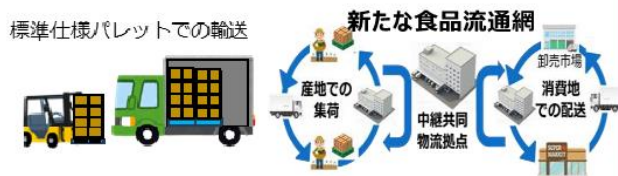
1. 持続可能な食品等流通総合対策事業 【3,200百万円（前年度 120百万円）】

① 物流生産性向上推進事業

物流の標準化、デジタル化・データ連携、モーダルシフト、ラストワンマイル配送等に必要な実装や、物流の効率、デジタル化・データ連携等に必要な設備・機器等の導入を支援します。また、産地や業界等の課題の状況に応じ、物流の専門家等を派遣する伴走支援等を行います。

② 中継共同物流拠点施設整備事業

新たな食品流通網の構築に必要な中継共同物流拠点の整備を支援します。



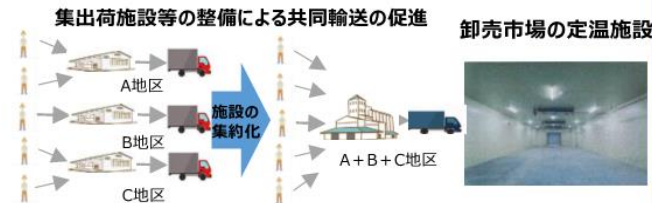
2. 強い農業づくり総合支援交付金 【12,152百万円（前年度 11,952百万円）の内数】

① 産地基幹施設等支援タイプ

産地の集出荷体制の合理化に必要な集出荷貯蔵施設等の整備や、パレットの規格統一化に対応したパレタイザー導入に係る施設の改修等を支援します。

② 卸売市場等支援タイプ

物流の効率化、コールドチェーンの確保等を図る卸売市場や積載率向上等に資する共同物流拠点の整備・機能強化を支援します。



3. 持続的生産強化対策事業 【16,000百万円（前年度 14,192百万円）の内数】

① 時代を拓く園芸産地づくり支援

加工・業務用野菜産地における物流合理化に資する大型コンテナの導入や予冷库の利用等、新たな生産・流通体系の構築等を支援します。

② ジャパンフラワー強化プロジェクト推進

花き流通の効率化に資する標準規格のパレット・台車の導入、受発注データのデジタル化、その他効率的な流通体制の確立に資する検討や実証試験の実施等を支援します。



大型コンテナや予冷库の導入

台車や効率的な流通規格の導入

【お問い合わせ先】（1、2②の事業）大臣官房新事業・食品産業部食品流通課
（2①の事業）農産局総務課生産推進室
（3の事業）園芸作物課

（03-3502-5741）
（03-3502-5945）
（03-6744-2113）

ご清聴、ありがとうございました。
資料に関するお問い合わせは、こちらにお願いします。

農林水産省九州農政局鹿児島県拠点
099(222)5840

fujio_kuboyama350@maff.go.jp

農林水産省九州農政局鹿児島県拠点のホームページ

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/index.html>



鹿児島県拠点 HP↓